

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書(概要)

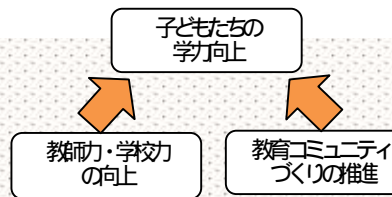
平成23年度に重点的に取り組んだ内容

【平成23年度教育委員会事務局運営方針】

平成23年度は、重点的に取り組むものとして3つの経営課題を設定し、経営課題の下に計7項目の戦略と、各戦略に沿った26項目の具体的取組を掲げるとともに、見直しを進めるものとして9項目の具体的取組を掲げて教育行政を推進しました。

優先的に取り組んだこと

教師力・学校力の向上や学校・家庭・地域が連携した教育コミュニティづくりを支援し、子どもの学力向上策を総合的・効果的に推進しました。



点検及び評価の結果

【全体を通して】

(主な成果)

戦略7項目のうち6項目で見込んだ成果が概ね得られ、具体的取組35項目のうち30項目で業績目標を上回る、又は概ね達成しました。

(今後の方向性)

- 「確かな学力の確立」について、成果は着実に上がっているものの目標との差は依然としてあり、イノベティブなアイデアやダイナミックな戦略思考などに留意して今後の方向性を検討し、教育振興基本計画の改訂に反映していきます。
- マネジメント改革として、校長の裁量の拡大、校長の職務を補佐するしくみの構築、検証・改善サイクルの充実を進め、各校の実情に応じた特色のある教育実践を進められる支援の充実に取り組みます。
- また、開かれた教育行政・学校運営として積極的な情報の提供や、学校・家庭・地域等のさらなる連携を進めます。
- 市民に成果をわかりやすく伝えるために、具体的な指標や数値目標を盛り込むよう努めます。
- 確かな学力の向上はもとより、ICTを活用した教育や外国語活動、防災・減災教育などの新たな取組も含めた施策の総合的な推進により相乗的な効果を得られるように努めます。

戦略【確かな学力の確立】

(主な目標)

- 全国調査の無解答率を全国平均以下にする。
- 活用に関する問題の正答率3割以下の児童・生徒の割合を全国平均以下にする。
- 家で復習している児童・生徒の割合を全国平均以上にする。

(主な成果) 見込んだ成果を得られませんでした

- 基礎・基本の定着や自主学習習慣の確立などで指標は改善しているものの、全国平均との差は依然として存在
- 文章を読み取り、考えを記述することに課題があり、言語力の向上を図ることが必要

主な具体的取組	業績目標	達成状況
小中一貫した教育の推進	施設一体型小中一貫校の施設整備に着手等	概ね達成
習熟度別少人数授業の充実	全小中学校で実施計画に基づき授業を実施	概ね達成
放課後ステップアップ事業の実施	各小学校で年間180時間実施	概ね達成

(今後の方向性)

習熟度別少人数授業などの戦略は有効である一方で、言語活動の充実を図ることが重要です。今後、現在の取組について、言語力の向上の観点も含めて引き続き改善・充実していくとともに、基本的な生活習慣の確立をはじめとする多面的な指導や、ICTの活用などの新規施策も視野に入れた創意工夫を講じながら、取組の効果をさらに高めていきます。

戦略【豊かな心とすこやかな体の育成】

(主な目標)

- 困っている人を助ける、将来の夢を持っている児童生徒の割合を全国平均以上にする。
- いじめ、不登校の児童・生徒を減少させる。

(主な成果) 見込んだ成果を得られました

- 困っている人を助ける割合は増加した一方で、将来の夢を持っている割合は減少
- いじめ・不登校は減少傾向

戦略【豊かな心とすこやかな体の育成】つづき

主な具体的取組	業績目標	達成状況
道徳教育の推進	ピア・サポート活動の指導者の養成等	概ね達成
いじめ・不登校・児童虐待等の防止	スクールソーシャルワーカーの派遣等	概ね達成
食育の推進	「小中一貫した食育の推進計画」の策定等	未達成

(今後の方向性)

将来の夢を持っている割合が減少しており、体験的な活動やキャリア教育の充実を図りながら、社会の形成者としての資質をはぐくんでいきます。また、いじめ・不登校・児童虐待等に対し、相談窓口の周知徹底や子どもの声をくみとるしくみの構築を図ります。さらに中学校給食を通じた食育の推進や防災・減災教育の実施などに取り組みます。

戦略【一人ひとりの個性を伸ばす教育の充実】

(主な目標)

- 知的障がい特別支援学校の教室不足の解消を進める。
- 新商業高校を開校する。

(主な成果) 見込んだ成果を得られました

- 東住吉・(新)難波の両校の整備計画に進展
- 新商業高校は24年4月に開校

主な具体的取組	業績目標	達成状況
特別支援学校の推進	新たな特別支援学校の教育課程等を検討等	概ね達成
新商業高校の開校準備	新商業高校の校舎建設や入学選抜の実施等	概ね達成

(今後の方向性)

特別支援教育では教員の指導力の向上が重要であり、特別支援教育コーディネーターを中心に指導・支援体制の充実などに努めます。また、知的障がい特別支援学校高等部卒業生の就職率の向上に向け、職業学科の新設をはじめ職業教育の一層の充実に取り組みます。高校教育は、府市統合を見据え、市立高校の特色ある教育の継承も含めて大阪の高校のより良いあり方について検討を進めます。

戦略【学校力の向上】【教職員の資質・能力の向上】

(主な目標)

- 学校関係者評価を改善に活用した学校の割合を全国平均以上
- 「研究授業で教員の指導力が向上」と答える校長の割合90%以上

(主な成果) 見込んだ成果を得られました

- 学校関係者評価の実施率が100%を達成
- 「向上した」小学校長95%、中学校長91%

主な具体的取組	業績目標	達成状況
検証・改善サイクルの確立	全学校園で学校関係者評価を実施・公表	概ね達成
若手教員の指導力向上と校内研修の支援	授業研究を伴う校内研修を小学校平均9回、中学校6回以上等	概ね達成

(今後の方向性)

学校力の向上には校長のマネジメントの強化が重要であり、校長裁量の拡大、副校長の設置など校長を補佐するしくみの構築、教育指導の計画を通じたミッションの共有、校務支援システムによる負担軽減などの取組を進めます。また、学校評価をはじめ学校活動に関する情報の積極的な提供に努めます。また、教職員の資質・能力の向上では若手教員の育成が急務であり、OJTの充実や校内研修の活性化のための支援に加え、若手教員のリーダーとなる「メンター」の活用などを進めます。

戦略【学校・家庭・地域等の連携の推進】【生涯学習の推進】

(主な目標)

- 「PTAや地域の人が学校活動にボランティアで参加」と答える校長の割合を全国平均以上にする。

(主な成果) 見込んだ成果を得られました

- 全国平均との差は依然あるものの、割合は着実に増加

主な具体的取組	業績目標	達成状況
教育コミュニティづくりの推進	中学校の教育活動のボランティア1720人以上等	目標を上回る
知識創造型図書館の機能充実	商用データベース総アクセス件数12万件以上	概ね達成

(今後の方向性)

学校・家庭・地域等の連携の推進では、学校元気アップ地域本部の全校設置に向けて着実に進めるとともに、連携による学校教育への効果にも着目して取組を進めます。生涯学習の推進では、市民利用施設の利用状況をもとに市民の生涯学習活動を測ってきましたが、今後は学習自体の質的充実・量的増大を直接測定する方法を検討し、事業の企画・実施に活用します。